



Fig. 13 (a)GPS観測により得られた3次元変位速度データにもとづき推定されたプレート境界上のバックスリップ分布[Suwa et al., 2003]. コンターはバックスリップ量の等値線で、2cm/yr間隔で引いてある。用いたGPSデータは1997年から2001年までである。(b)(a)から計算された東西方向の歪分布[Sato et al., 2003]. コンター間隔は20nano-strain/yr. 星印は、北から最大余震(M5.3), 前震(M5.5), および本震(M6.2)の震央を示す。7月26日以降の活動域がバックスリップによる歪集中域に概ね一致している。